

2 . 借入がある世帯とない世帯の間に大きなゆとりの差

2 - 3 借入継続世帯で生活費目的の借入が増加

次に、世帯の借入タイプ別に借入目的をみると、「借入継続世帯」では、1997年には生活費補填のための借入は11.9%であったのに対し、2002年では25.0%と2倍以上に上昇している（図表7）。さらに教育費のための借入も2.4%から9.5%に、借金返済のための借入も6.0%から7.1%に上昇している一方、耐久消費財、衣類、趣味などのための借入は、いずれもおおむね低下傾向にある。

図表7 借入タイプ別 借入れ目的の変化

複数回答(%)

	借入継続世帯			その他の世帯		
	1997年	1999年	2002年	1997年	1999年	2002年
自動車	60.7	65.5	60.7	33.5	31.4	24.7
生活費	11.9	21.4	25.0	4.2	2.3	3.1
耐久消費財	16.7	10.7	10.7	6.8	6.5	3.6
教育	2.4	8.3	9.5	1.3	3.1	2.3
趣味など	14.3	11.9	8.3	3.6	3.4	1.8
借金返済	6.0	6.0	7.1	2.1	1.3	2.1
衣類	9.5	9.5	7.1	3.6	4.7	2.9
結婚	0.0	0.0	0.0	0.8	0.2	0.0
病気	1.2	1.2	1.2	0.3	0.8	0.8
その他	9.5	11.9	9.5	3.1	2.6	1.6